

各位

2019年1月

あたたかい市民本位の市政をつくる会
世話人会

今春の市長選挙の候補者擁立断念の表明

本年4月の市長選挙にあたって、私たちは、残念ながら候補者を擁立しないことを決しました。あたたかい市民本位の民主的な市政を望んでおられた多くの市民のみなさまには、その期待に添えないことを心よりお詫びいたします。

少子高齢化や福祉、教育、医療、経済、防災と環境など姫路市民に降りかかっている問題は厳しさを増し、弱い立場に置かれている市民の状況は深刻です。また、安倍政権の施策の多方面にわたる悪影響によっても市民の暮らしは苦しさを増すばかりです。消費増税はそれに輪をかけるものです。姫路市政が国の下請けに甘んじることなく、市民を守る防波堤となることが期待されます。

私たちは、こうした市政の現状を変え、憲法が市政と市民の生活の隅々に生かされる、あたたかい市民本位の市政を実現することがますます重要となっていると認識し、今回の市長選挙にあたって候補者の擁立のために、多くの方々の協力もいっただいて微力ながら鋭意努力を続けて来ましたが、しかしながら、適切な人材を選定してご本人の同意を得るに至ることができませんでした。そして、候補者を擁立しないという残念な結論を下すこととなりました。

今後も、あたたかい市民本位の市政を実現する努力を続けたいと思います。また、今回の市長選挙に立候補を表明されている方々にも、市民の声を届けたいと考えています。

以上